社会福祉法人　　紅葉の会

さくらんぼ保育園

経験の中で学ぶ

「川って冷たい！流れている！」「魚って速い！生きている」大人には当たり前のことも、子どもには触れてみて初めてわかる大きな発見です。
私たちは、知識も身体で感じて欲しい、心で学んで欲しいと考えています。
新しい知識や出来事を受け止める柔らかな頭、友だちを思いやる優しい心、自分のことは自分でできる生活力、そして自分に対する自信。さくらんぼ保育園で過ごす時間が、人生のしっかりした生きていく土台を育てる大事な時間となるよう、保育を展開していきます。

みんなで育ちあう

起きている時間のほとんどを過ごす保育園。ここではみんなが、いいところもそうでないところも含めて、丸ごと関わっていきます。友だちが傍にいるだけで楽しい乳児期から、一緒に遊ぶ楽を知り、自分の思いが通らない悔しさ・悲しさも含めて、どうしたら楽しく過ごせるか工夫する2・3歳時期。そして、仲間が頑張っているから自分も頑張ろうとする幼児期。喧嘩も含めてすべての関わり合いの中に一人一人の成長があります。大人も子どももみんなで育ち合うことを大切に日々過ごしていきます。

芸術性が高く伝統ある文化の継承

私たちは、子どもたちに日本の素晴らしい伝統芸能を伝承して欲しいと考え、沖縄のエイサー・津軽の荒馬・アイヌの踊り・石川県の「御陣乗太鼓」などに親しんでいます。中でも石川県無形文化財「御陣乗太鼓」は保存会の方をお招きして迫力ある演奏を子どもたちに見せ、お面づくりを行います。卒園式には自分で作った面をつけて太鼓を打ち鳴らします。感性豊かな子どもたちの表現力の素晴らしさに心打たれます。

さくらんぼ保育園の理念

乳幼児期は人格形成の基礎をつくる時期であり、ヒトから人間へと変わっていく大切な時期でもあります。その時期をより豊かなものにして欲しいと願い「３つの自然先生」を念頭においた保育をしています。

①自然（自然界）の中で遊びぬき、多くの体験をしていく。
②自分で育つ力（自己の内なる自然)、年齢に即して育つ力を大切にし、
　その発達をとらえた保育をしていく。
③大人から子どもへと自然に受け継がれていく営みの中で、人間として豊かな大人から
　よいことをたくさん学んでいく。

そのために５つの具体的な目標に沿った保育を実践しています。

楽しい保育園

遊んで食べてお昼寝をして…また食べて、遊ぶ。毎日の繰り返しの中で心も体も大きくなります。野山で友だちと転げまわって遊び、水に触れ、土に触れ、自分の感情をめいっぱい出せる事、よい絵本やお話が豊富にある事、仲間と共に遊べる優れた玩具がある事で、一日を充実できるようにしています。子どもたちが毎日「楽しいね！」「保育園に行こうよ！」と通園してくることを願って、魅力ある保育づくりを進めています。

一人一人の発達を大切に

子どもの発達は年齢に即して成長していく姿がありますが、そのペースにも個人差があります。お子さん一人一人の成長段階を見極め、時には見守り、時には発達を促すような取り組みを意図的に行い「自分で伸びようとする力」を充分に引き出していきます。このように年齢に即した発達や自分で育つ力を大切にし、食事、トイレなどの生活面、歩行、運動機能などの身体面、友だちとの関わりや自立心など精神面が健やかに育ちゆくよう保育を進めています。

それぞれの月齢・年齢、発達に応じて、豊かな心と健やかな身体を育てます。

こどものそだち

0歳児

一人一人の生活リズムを大切にします。

睡眠・遊び・食事を生活の基本に、一人一人のリズムに合わせてゆったりと関わっていきます。愛着形成の大事な時期に、目と目を合わせ（目交（まなかい））大人と向かい合う事を大切にし、歩行までの発達をとらえた保育をしていきます。

1歳児

見たい触れたいという気持ちと動きを大切にします。

好奇心旺盛で、見たり触れたりしていく中で沢山の事を学んでいきます。水遊び・砂遊びも大好き。模倣の天才の１歳児。大人の真似をして「ジブンデ」したい気持ちを見守り、「ジブンデできた」という喜びにつなげます。

2歳児

自分でやりたいという気持ちやり始める力を大切にします。

やりたい、やれると思っていることは「イヤ」という言葉で現われ主張し始めます。大切な反抗期を受け止めながら食事や着替え、トイレなどの自立を支えていきます。遊びや言葉への意欲も育てます。

3歳児

友だちと遊ぶ楽しさを充分体験し、友だちとの関わりを育てます。

友だちとケンカしたり、また仲良くなったり、その繰り返しが友だちとの関係を作っていきます。身体も心も大きくなって、色々なことに挑戦し力をつけていく時期。高尾山の山登りも始めます。

4歳児

豊かな経験や体験をたくさん取り入れます。

ごっこ遊びや集団遊びをたくさんすることで、一人一人の思いを乗り越えて、ルールを守ってみんなで遊ぶ楽しさを体得していきます。月２回、スイミングプールでの取り組みもスタート。食事や午睡も準備から片付けまで行い、自分たちで「生活」を作り自立に向けていきます。

5歳児

集団の中で自分のあり方がわかる自立から、自律を育てる１年です。

０歳児から遊びぬいて蓄えた力を発揮します。畑作り・雑巾縫い・袋縫い・当番活動・掃除描画・鯉のぼり作り・縄編み・お泊り保育など、たくさんの課題をやり抜いて力をつけ、達成感を自信へとつなげていきます。自分で考え行動できる子・自分のあり方がわかる子など、自立から自律へ、集大成の１年です。

子どもたちの健康管理や病気・ケガへの対応は、常勤の看護師が担当しています。また保育室・保健室・沐浴室・トイレ・プールなどの衛生管理や健康相談なども行っています。昨今の社会情勢に対応して、外から見えにくく、中から圧迫感のない塀や、玄関のロック、防犯カメラの設置など、防犯管理にも努めています。事故防止への「ヒヤリハット」研修や日々の振り返りは職員が一体となって取り組み、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを心がけています。

１年の流れ

４月	入園式	（新入園児保護者参加）平日
６又は７月	親子リズム	（保護者参加）土曜日
７月	七夕・プール開き	
９月	子どもまつり	（保護者参加）土曜日
10月	運動会	（保護者参加）土曜日
11月	防災を考える日	（保護者参加）平日
12月	おたのしみ会	
１月	もちつき	
２月	節分	
３月	ひなまつり会	
	卒園式（卒園児保護者参加）土曜又は祝日	

１日の流れ

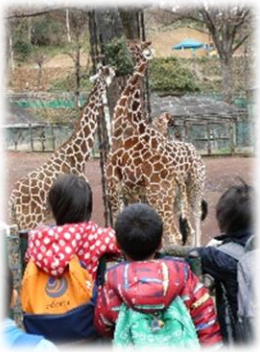
７：00	開園
	０・１歳児　合同保育
	２歳児以上　合同保育
８：30	各クラス別保育
	ロールマット（視診）
	朝の会・日課
	主活動（散歩・リズムあそび・園庭遊び・課題）
11：15	昼食（０歳は個別対応）
12：30	午睡
15：00	おやつ
16：00	帰りの支度・夕方の会
	あそび（散歩・リズムあそび・園庭遊び・描画・粘土）
17：30	あそび
	０・１歳児　合同保育
	２歳児以上　各クラス保育
18：00	延長保育
	おやつ・あそび
	０・１歳児　合同保育
	２歳児以上　合同保育
19：00	閉園

≪園庭遊び≫

≪夏のプール≫

≪4・5歳児のスイミング≫

≪散歩・遠足での経験≫



≪畑・食材に触れる・調理≫

≪労働≫

≪リズムあそび　年長≫

≪乳児リズム≫

≪ロールマット≫

≪年長児クラスの取り組み≫

さくらんぼ保育園オリジナル

お泊り保育

大自然の中での お泊り保育

自然の中で心身ともに大きく育ってほしいとの願いから、年長５歳児は年に２回お泊り保育を実施しています。一日かけての登山や牧場での触れ合い、雪遊びなどその時々の天候等を考慮して計画しています。自然の中での体験や親元を離れての生活を、仲間と共に経験する中で、感性や自律心を養っていきます。

3クラス分け

0～1歳児は３クラスの小集団で ゆっくり関わります。

0～1歳児は、月齢や発達の速度によって、個人差の大きい時期です。0歳児クラス・01歳児混合クラス・1歳児クラスの３つに分けて、小集団の中で一人一人と丁寧に関わることで、大人との信頼関係をより深く築けるように配慮しています。また、発達段階に応じた保育展開ができるのも大きな利点となっています。

調理室の窓は、小さい子どもから調理の様子が見えるようになっています。床が一段低いのも調理台が子どもたちの目線になるようにするためです。また、年齢に応じて、食事の配膳や片付けも行います。食べる事、食べるものとのつながりを身近に感じられるように配慮しています。

食育

食と命のつながりを肌で感じ、食を身近に感じて生活します。

鮭やブリの解体・川での魚つかみなど、命あるものをいただく事を知ってほしい、自分の食べるものに関して興味をもってほしいという想いで、取り組んでいます。畑を耕し、種や苗を植え、土が乾いたら水をやります。成長する野菜を大事に育てた後の収穫物は、好き嫌いを超えて子どもたちの心に届きます。また、1歳児はミカンの皮むき、2 歳児は、玉ねぎやトウモロコシの皮むき、3歳児は、ゴボウの泥洗い、4・5歳児は調理保育と年齢に応じた食育計画を立てて親しんでいます。

素材厳選、安全・美味の給食活動

農薬やポストハーベスト・保存料や防腐剤等を考慮した安心して食べられる「季節の食材」を、選び抜いた仕入れ先から取り寄せています。野菜を中心に、油や肉を摂りすぎない薄味で歯ごたえのある食事です。おやつも、大切な一食の栄養と捉え、し好品は使用せず、手作りの蒸しパン、お焼き、ゆでトウモロコシ、昆布、煮干し、酢大根などをよく噛んで食べています。
アレルギー食は医師の診断・指示のもと、卵・牛乳・大豆・小麦の除去や代替えを行っています。保護者と栄養士が面談を行いながら対応しています。また、陶器の食器を使うことや母乳パックの受け入れ等も行い、当園の給食は、東京都集団給食施設栄養改善知事賞をいただきました。

みんなでつながる　子育て支援
「親子のひろば」

ひろばは「みんなで子育て、みんなで育ち合い」（一人一人の子育てを「ひろば」に来るみんなで支え合い育ち合えるよう参加者とともに作っていく）場です。お子さんにとって楽しい場所、お母さんにとっても、ほっとできる場所になる様な取り組みを行っています。お気軽にあそびにいらしてください。

≪　主な取り組み　≫

園庭開放　　リズムあそび　　園行事への参加

親子であそぼう（アフタフ　バーバン）写真下

親子交流　　妊婦さんと赤ちゃんの会

輪になって話そう　　他

≪　参加方法　≫

毎月の予定表はホームページに掲載されています。要申し込み以外は直接お越しください。

≪育児相談≫

どんなことでもお話を伺います。一人で悩まずご相談ください。（電話・面談）

月～金　9：00～17：00

保育園と家庭の連携

保育園は、集団生活の場です。色々なお友だちがいて、色々な大人がいて、色々なご家庭があります。お子さんにとって社会生活の第一歩となります。あそびや生活を通して様々な力を獲得し、仲間を通して多くの感情を経験します。お子さんが実り多き社会生活を過ごせるよう、ご家庭で行う事と保育園で行う事を明確にして、お互いに協力しながらお子さんの育ちを支えていきます。

≪　家庭の役割　≫

（１）生理的欲求の保障

「早寝早起き朝ごはん」で食べること寝ることを満たします。

（２）体調把握と管理

集団生活が可能な体調か日々視診を行い、体調が悪い日は家庭保育をします。

（３）愛着形成

お子さんの肌に触れ、目と目を合わせ、沢山会話をして親子の絆を深めます。
自己肯定感を育む大切な時期です。お子さんの心を満たしていきましょう。

（４）基本的生活習慣の獲得

食べる・排泄・着替え・身支度が自分で出来るように、保護者の方は環境や道具を整え、共に行い、見守っていきます。

≪　保育園の役割　≫

「子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行う」

☆一人一人の子どもに温かく共感しながら受容的、応答的に関わる
☆安心して自分の思いや力を発揮できる環境で遊びなど自発的な活動を通して体験的に様々な学びを重ねていく

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

1. 健康な心と体
2. 自立心
3. 協同性
4. 道徳性
5. 規範意識の芽生え
6. 社会生活との関わり
7. 思考力の芽生え
8. 自然との関わり・生命尊重
9. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝え合い
10. 豊かな感性と表現

保育所保育指針より

保育所保育指針・さくらんぼ保育園保育理念・保育目標を元に、年齢別保育を展開していきます。その中で、一人一人の発達を見極めて関わっていきます。

≪　早寝・早起き・朝ごはん　≫

①元気な体と心を育む
②毎日の活動を意欲的に行える

就寝　→　20 時　　起床　→　6 時

夕飯は軽めに済ませ、早く布団に入り、十分な睡眠をとると、朝からごはんをもりもり食べられます。午前中に元気に活動するためにも朝ごはんをしっかりと食べて登園するようにしてください。

≪　布おむつ・綿パンツ　≫

①肌で排尿・排便を感じて感覚神経を育てる
②排泄のたびに大人が語り掛け、交換し快・不快を心で感じる大切な時間
③軽い綿パンツで過ごすので、動くことが快適で運動機能が高まります。
④薄い綿パンツで着脱をしていくので、衣類の着脱がとても上手になります。
⑤排泄感覚が育つため、自らトイレに行くようになり、無理なトイレトレーニングは不要です。

保育園では紙パンツは使用しません

≪　沢山の洗濯物　≫

①一日元気に遊ぶと 0・1 歳児はエコバック山盛り 1 袋分位の洗濯物をお持ち帰りいただきます。
②洗濯物で、お子さんの一日の遊んだ様子や体調がわかるようになります。

仕事との両立で沢山の洗濯は大変ですが、2 歳児になり排泄が確立すると、洗濯物の量は減ります。日中、お子さんが元気に遊んで、もりもりご飯を食べている様子を思い浮かべながら乗り切っていただければ幸いです。おしっこや便の回数やにおいが普段と違う時は体調が悪い兆候かもしれません。

≪　はだし　≫

①元気な体と心を育む
②足裏の感覚が育つ
（硬い・ぬるぬるしている・段差・草は柔らかい・など足裏で感じたことを脳に伝達し、自分の身を守れるようにもなります）
③足の指の分化
（足の指を広げて踏ん張る力・台地をつかむ力動物にはできない直立二足歩行には指の分化が不可欠です。靴や靴下で覆ってしまうと指の分化は妨げられてしまいます。）
④足の親指を使うことで歩行力を養い、脳への刺激も促します。

≪　自然物を大事に　≫

①お子さんが身に着ける物は、綿（自然素材）が心地よく肌や心に害がありません。
②お子さんが見て触れる物も自然の物だと感性が育ちます。（花・草・木・動物・虫水・空・大地・海・雨・雪・・・・）

大人が作ったキャラクターやＴＶ・ゲーム・スマホ・映画・ＤＶＤは乳幼児期には不要です。保育園生活で使用する衣類・靴・帽子・リュックなどはキャラクターのついていないシンプルなデザインの物でご用意ください。

≪　実体験からの学び　≫

①人間も動物も、実際に経験したことや肌で感じたことから、多くの学びをして脳や感覚を育て生きていきます。
②バーチャルの世界では大人になるための大切な感覚は育ちません。

自然環境の中での発見や仲間と共に遊ぶ保育を展開するため、保育中にＴＶを見せることはありません。休日も、できるだけ保護者の方との触れあいや、戸外で体を使う遊びや、自然を堪能することなどで楽しいひと時を過ごすことをお勧めします。

≪　冬でも戸外あそび　≫

①子どもはとにかく体を使いたい
②冬の自然からの学びも沢山ある

日中の温かい時間を選びながら、冬でも戸外でのあそびが主活動です。もちろん室内あそびも行いますが、雨上がりや雪が降った時ほど子どもたちは外に出たがります。衣類で防寒するよりも、動いた方が体の中から温まることを実体験のもとで子どもたちは知っているのです。また、免疫力も高まり、風邪をひかない元気な体に育っていきます。

≪　歯磨き　≫

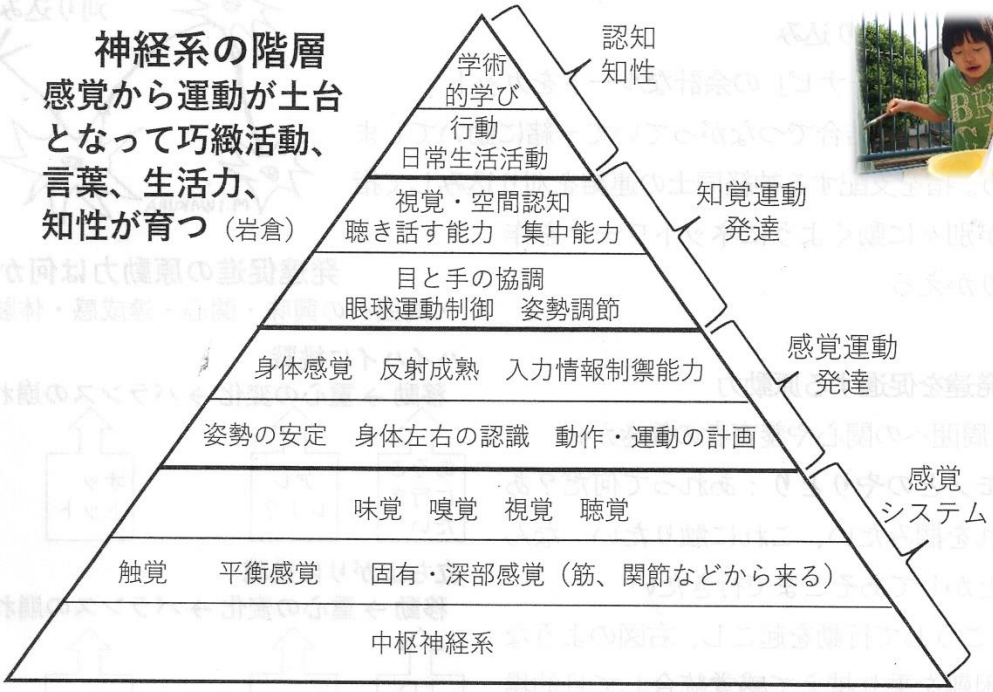
①お菓子・ジュースのし好品が虫歯の原因
②夜の仕上げ磨きが、虫歯予防

保育園では、し好品は出ないので食後にお茶を飲むことで口腔内を清潔にしています。夜の寝ている間に虫歯になりやすいため、年長児であっても自分で磨いてから、保護者の方が仕上げ磨きをして虫歯予防をしてください。転倒して歯ブラシがのどに突き刺さる危険性も踏まえて、保育園では歯ブラシ指導は行っていません。

≪　文字学習・習い事　≫

①愛着　　大好きな人に自分の存在を認めてもらう経験・人と過ごすことが心地よい・自己肯定感
②感覚　　音・におい・味・皮膚感覚・うれしい・悲しい・直立する・人や物との距離感
③運動機能　脱力・走る・よじ登る・転がる・バランス・ボール・縄跳び・鉄棒・泳ぐ
④巧緻活動　手指を使って物を作り出す・折り紙・粘土・工作・はさみ・のり・大工道具・針
⑤言葉　　経験したことや自分の考えが言葉で表現できる。相手の話を理解して聞くことができる
⑥生活力　　自分の身の回りの事が自分で出来る・掃除・仲間や家族と協力して過ごせる
⑦規範感覚　　人の気持ちがわかり協力し合える・ルールや約束事を理解して自ら守れる

乳幼児期に①～⑦を育てると知性が身につきます。この適正期は７歳（小学１年）です。保育園は①～⑦が育ち合う場にて「あいうえお」や足し算引き算を机の上で勉強することはしません。保育の中で全身運動を保障し、年長児では大工道具や針を使って物を作り出す事を体験できるようにします。また、英会話などの早期教育やサッカー・空手・水泳などの習い事も７歳以降で十分と捉えています。是非、幼児期は大好きな保護者の方と一緒にプールで遊んだり、公園でサッカーやキャッチボールをしたり、料理やお菓子作りを楽しんだりなど、今しかない時間を楽しんでほしいと願います。



『Pyramid of Learningn』Williams & Shellenberger, 1996を参考に簡略化

岩倉政城氏　作図

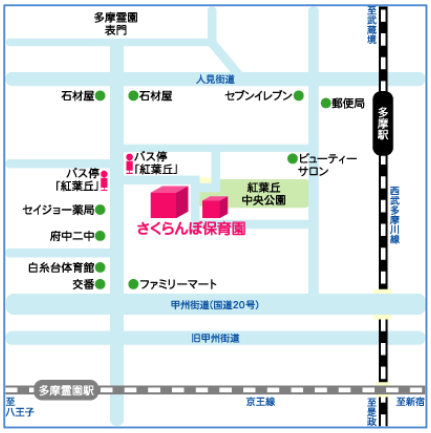
さくらんぼ保育園

保育園分園

姉妹園　白糸さくらんぼ保育園
白糸台 3-36-2　☎042-367-4610

交通機関

☆京王線「多磨霊園」駅下車
　京王バス約 5 分「紅葉丘」バス停下車　徒歩 1 分
☆西武多摩川線「多磨」駅下車　徒歩 10 分



所在地　〒183-0004　東京都府中市紅葉丘 1-28-1
電話　　０４２－３６６－２１７８
Fax　　０４２－３４０－５５３９
ホームページ　sakuranbo.momiji-no-kai.jp

保育園の概要

社会福祉法人　紅葉の会　さくらんぼ保育園/分園
●所在地　府中市紅葉丘 1-28-1　/　1-27-1
　　（分園は小道をはさんで向かい側）
●電話　　042-366-2178（本園）
　　042-360-2505（分園）
●経営主体　社会福祉法人　紅葉の会
●施設認可　昭和 61 年 4 月 1 日（本園）
　　平成 13 年 12 月 1 日（分園）
●敷地面積　831.00 ㎡　/　222.38 ㎡
　　（総敷地面積　1053.38 ㎡）
●延床面積　664.35 ㎡　/　170.96 ㎡
　　（総延床面積　835.31 ㎡）
●建物構造　鉄筋コンクリート 2 階建（本園）
　　鉄骨造 2 階建（分園）

沿　革

1979 年　無認可保育園設立
1986 年　社会福祉法人「紅葉の会」認可
　　社会福祉法人「さくらんぼ保育園」認可
　　定員：45 名
1990 年　延長保育・地域活動事業・アレルギー
　　食対応など始まる。
1994 年　増改築の工事着工
1995 年　定員変更 55 名（2 歳児未満 27 名・3
　　歳児 28 名）＊延床面積：499.85 ㎡
1998 年　4・5 歳児保育認可　定員変更 83 名
　　＊延床面積：539.02 ㎡
1999 年　定員変更 96 名
2001 年　さくらんぼ保育園　分園設立
　　定員変更 110 名＊延床面積 709.98 ㎡
2010 年　増改築の工事着工
2011 年　定員変更 130 名＊延床面積 835.31 ㎡
2012 年　白糸さくらんぼ保育園設立